

北中は昭和36年大庄東中（現在は、旧大庄東中学校と旧大庄西中学校がいっしょになって大庄中学校になっています）から分離開校して50年になります。創立については、これまで「創立にちなんで」1, 2号に載せてきました。今回は校歌、校章、スクールカラーについて、「創立十周年記念誌」からひろってみました。（記念誌の文章をそのまま載せました）

『校歌』

本校が昭和36年4月に開校し、40年11月に校歌が制定される約4年の間、校歌がなかったわけである。その間、修学旅行や遠足のバスの中で校歌の斉唱を請われ歌うべき校歌のないほど寂しいものはなかった。そのうちに、生徒や父兄、先生の中に早く校歌を作ってほしいという気運が起こってきた。そこで、昭和40年校歌作成委員会を構成した。—中略—7月20日、数回の会合を重ね、(1)本校の校風にふさわしいもので、本校の校訓となるようなことばを入れた歌詞で、(2)一般公募をすることを公表。9月20日応募作品十四点の中より優秀作品を4点にしぼり、さらにその中より一点、本校の加藤先生作詞のものを選定した。作曲は本校の故岡野先生に依頼、11月4日作曲披露、11月15日校歌発表会。

『校章』

新しい学校を象徴する校章を、みんなの創意でつくろうと、生徒と先生が知恵をしばり合って、中から選ばれたのが、当時の三年生芦田信之君の作だったのである。ふっと頭に浮かんだまを図案にしてみたらなんとなく良かったというのだから、我々こんな芸心のない者には、全くうらやましい限りである。中を真中にして上でている部分は天をも貫く意気を示し、下部の部分は、大地をしっかり踏みしめていこうという、堅実を表しているようで、上・下の部分を一緒にして大庄の大と北中を一緒にした図案を描いている。何気なく帽子の真中につけているこの校章にも先輩達の愛校の心が流れているように思える。

『スクールカラー』

本校のスクールカラーは緑である。緑がなぜ選ばれたかははっきりしないが女生徒のネクタイ色を決めるのに、付近の学校に緑がないので緑がよかろうということからはなかったかと思う。緑は色から受ける感情を一般的に多くの人々が持つ連想の平均値から割り出してみると、草木、平和、久遠、健全、安息、生長、旅行である。—中略—緑を見ているとなんとなく目が休まり、心が落ち着いてくる。現在人間がもっとも求めている色ではないかと思う。

どうでしたか。校歌は当時の先生の、校章は当時の生徒の案がそれぞれ採用されています。私にとっても先輩、みなさんにとっても先輩にあたる人たちの思いがつまっています。その思いを大切に、我々も次の人たちに伝えていかなければなりません。後輩としての務めです。

校歌を歌うとき、このことを思い出して、大きな声で心をこめて歌うのが先輩たちへのなによりの「感謝のしるし」ではないでしょうか。